

四季を彩る嵐山

春



©京都市メディア支援センター

夏



秋



©京都市メディア支援センター

冬



国土交通省 近畿地方整備局  
淀川河川事務所



淀川河川事務所  
〒573-1191 枚方市新町2丁目2-10  
TEL.072-843-2861~8



桂川出張所  
〒615-8021 京都市西京区桂浅原町174  
TEL.075-381-4667

# 嵐山左岸溢水対策

「史跡及び名勝」嵐山における河川整備





# 「史跡及び名勝」嵐山における 河川整備

## これまでに発生した洪水

桂川嵐山地区では洪水が頻発しており、近年は毎年のように浸水被害が発生しています。平成25年台風18号洪水では、嵐山地区において93戸の浸水被害が発生し、観光や地元経済に甚大な被害が生じました。

●平成16年台風23号洪水



●平成25年台風18号洪水

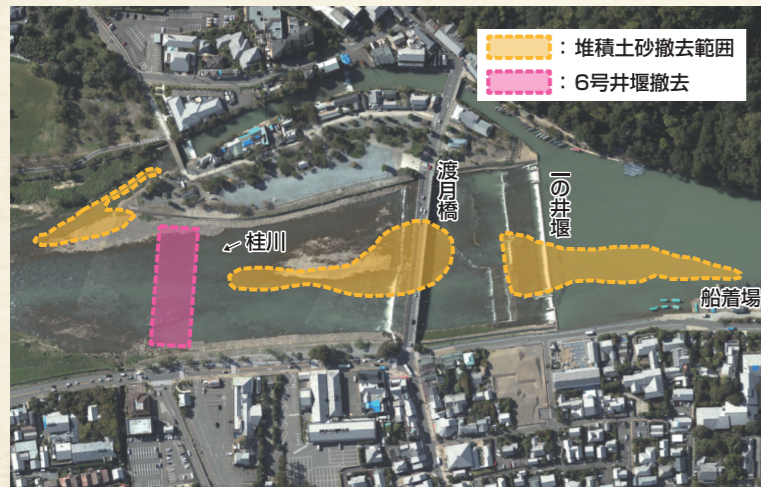


●平成30年7月豪雨洪水



## これまでに実施した治水対策

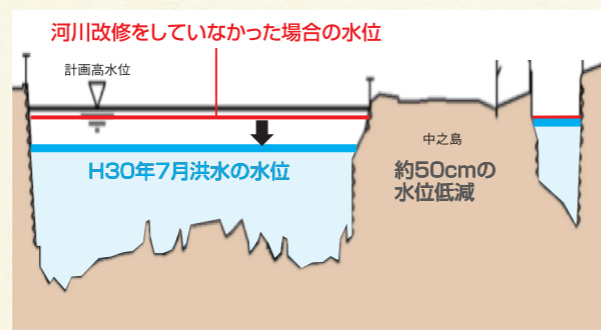
平成25年台風18号洪水を契機に、平成26年から桂川緊急治水対策事業を実施しています。嵐山地区では、これまでに堆積土砂撤去工事や6号井堰撤去工事を実施しました。これらの対策により、平成30年7月豪雨において渡月橋下流で約50cmの水位低減効果を発揮しています。



●事業前後の状況



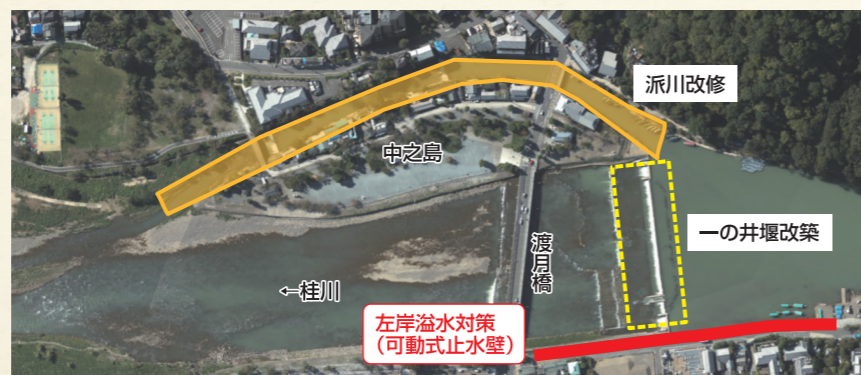
●渡月橋付近における水位低減効果



## これから取り組んでいく治水対策

桂川嵐山地区河川整備検討委員会からの助言や地元における議論をふまえ、「史跡及び名勝」への影響を極力抑制し、浸水被害を速やかに軽減する治水対策として、「可動式止水壁による左岸溢水対策」「一の井堰改築」「堰改築を含む派川改修」を当面進めていきます。

●嵐山地区における当面の治水対策



〔第8回桂川嵐山地区河川整備検討委員会(平成30年12月)において決定〕

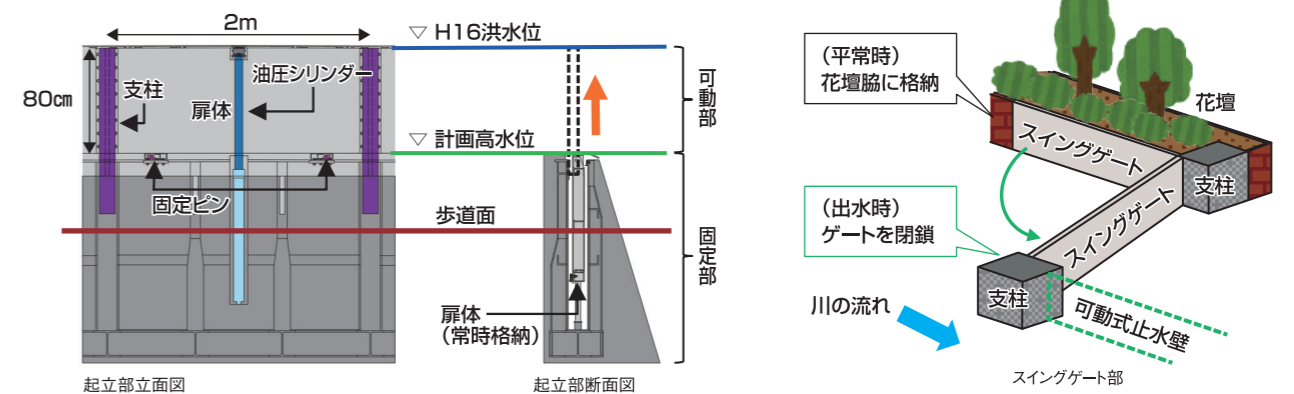
## 【左岸溢水対策】構造の概要

可動式止水壁は、渡月橋上流左岸約260mにわたって整備します。平常時の景観に配慮し、洪水時のみ扉体を垂直に立ち上げます。上流端は、スイングゲートを閉鎖して止水します。

●左岸溢水対策の実施区間



●可動式止水壁起立部およびスイングゲート部の構造概要



## 【左岸溢水対策】意匠の概要

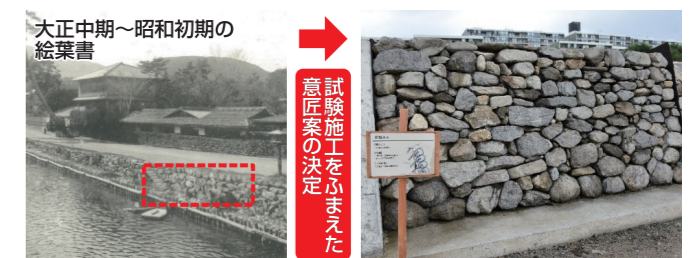
可動式止水壁の意匠については、委員会からの助言や地元意見を丁寧に聴きながら、試験施工を行うなど慎重な検討を重ねてきました。歩道側については、歩道から臨む風景が主役となるよう、周辺の雰囲気との調和を目指します。川側については、「史跡及び名勝」指定当時の石積みの再現を目指します。

●歩道側立面・舗装



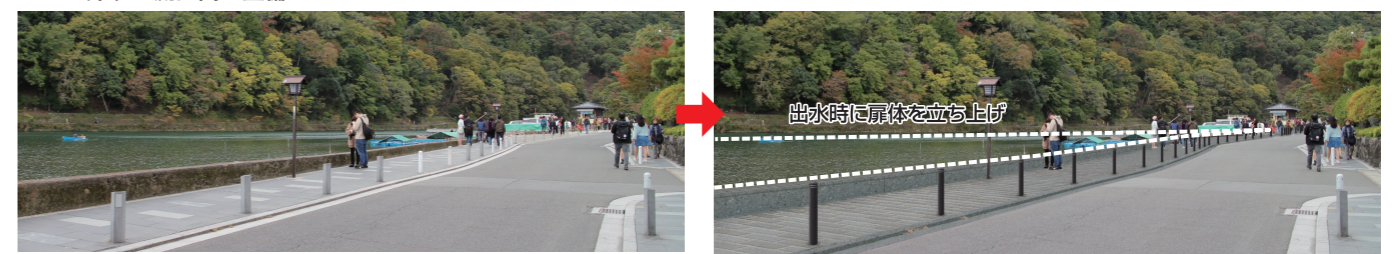
地元と意見交換を行いながら試験施工に用いる材料を選定

●川側立面



「史跡及び名勝」指定当時の石積みの再現を目指す

●一の井堰上流区間の整備イメージ



現在

整備イメージ